

厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業  
(障害者政策総合研究事業 精神障害分野)  
分担研究報告書

## 小児摂食障害の治療と対応マニュアルの作成及び検証

分担研究者 作田 亮一 獨協医科大学 小児科学 特任教授

研究協力者 大谷良子<sup>1)</sup>, 井上建<sup>1)</sup>, 北島翼<sup>1)</sup>, 高宮静男<sup>2)</sup>, 岡田あゆみ<sup>2)</sup>, 荻原かおり<sup>3)</sup>,  
井口敏之<sup>4)</sup>, 鈴木太<sup>5)</sup>, 公家里依<sup>6)</sup>

1)獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター, 2)岡山大学小児科, 3)TIP 二子玉川、心理士, 4)星ヶ丘マタニティー病院, 5)福井大学子どものこころの発達研究センター児童精神科, 6)信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部

### 研究要旨

本研究は、小児摂食障害の治療と対応マニュアルの作成及び検証することを目的とする。1) 小児治療マニュアル作成、2) 家族療法(Family Based Treatment; FBT)マニュアル作成、3) 養護教諭向けマニュアル検証の3つの目的に沿って、文献の収集、Curiosity Quotient (CQ)の作成を行った。FBT 研修に用いられる「はじめてのFBT 実践ガイド」を冊子として完成した。

### A. 研究目的

小児摂食障害の治療と対応マニュアルの作成及び検証することを目的とする。

### B. 研究方法

3つのワーキンググループを構成した。

1) 小児摂食障害治療マニュアル作成ワーキンググループ (WG)、2) 家族療法 (Family Based Treatment; FBT)マニュアル作成 WG、3) 養護教諭向けマニュアル検証 WG

各 WG には、小児科医、児童精神科医、心理士が加わった。マニュアルはエビデンスレベルの高いものとするが、Medical Information Distribution Service (MINDs) に沿った方法はとらない。摂食障

害学会のガイドラインの Curiosity Quotient (CQ)を参考にする。CQ 以外の項目で、必要な項目も抽出する。デルファイ法を採用する。

### C. 研究結果

1) 小児治療マニュアル: 主な治療に関する文献の検討を終了し、CQ を作成した。2) 初心者向け FBT 研修で使用を想定した、「はじめての FBT 実践ガイド」を、冊子として完成した。3) 上記、研究概要を第 26 回日本摂食障害学会シンポジウムで報告した。

### D. 考察

1) 得られた CQ に関するステートメン

トをまとめデルファイ法を用いて検討しブライメリー医向け小児摂食障害治療マニュアルを作成する。2) FBT 実践ガイドを摂食障害ポータルサイトからダウンロード可能とし、本ガイドを用いた研修会を今後開催する。また本ガイドの有用性の評価検討を行う。

## F. 健康危険情報結論

本研究による健康危険は考えられない。

## G. 研究発表

1. 論文発表
  - 1) Hamatani S, Matsumoto K, Andersson G, Tomioka Y, Numata S, Kamashita R, Sekiguchi A, Sato Y, Fukudo S, Sasaki N, Nakamura M, Otani R, Sakuta R, Hirano Y, Kosaka H, Mizuno Y. Guided Internet-Based Cognitive Behavioral Therapy for Women With Bulimia Nervosa: Protocol for a Multicenter Randomized Controlled Trial. *JMIR Res Protoc*. 2023 Sep 19;12:e49828. doi: 10.2196/49828.
  - 2) Imatani K, Inoue T, Oto Y, Kitajima T, Otani R, Nakashima SF, Kanazawa S, Yamaguchi MK, Sakuta R, Matsubara T. Generalized anxiety disorder and depression associated with developmental prosopagnosia: a case report. *J Mental Health Clinical Psychology* 2023.
  - 3) Kitajima T, Otani R, Inoue T, Matsushima N, Matsubara N, Sakuta R.: Sensory processing in children and adolescents shortly after the onset of anorexia nervosa: a pilot study. *Biopsychosoc Med*. 2022 Dec 12;16(1):27. doi: 10.1186/s13030-022-00256-z.
  - 4) Kitajima T, Otani R, Inoue T, Matsushima N, Matsubara N, Fujii A, Ban S, Sakuta R.: Cerebellar tonsillar herniation in sudden death of an adolescent anorexia nervosa patient: a case report. *Eat Weight Disord*. 2022 Oct;27(7):2937-2941. doi: 10.1007/s40519-022-01377-8. Epub 2022 Feb 16.
  - 5) 作田亮一、北島翼、松島奈穂、井上建、大谷良子. 児童・思春期における摂食障害の外来治療：効果的な治療とは？－地域医療機関および教育との連携を中心の一. *精神神経誌* 126(3), 218－224, 2024
  - 6) 井上建, 小坂浩隆, 岡崎玲子, 飯田直子, 磯部昌憲, 稲田修士, 岡田あゆみ, 岡本百合, 香山雪彦, 河合啓介, 河野次郎, 菊地裕絵, 木村大, 越野由紀, 小林聡幸, 清水 真理子, 庄司保子, 高倉修, 高宮静男, 竹林淳和, 林田麻衣子, 樋口文宏, 細木瑞穂, 水田桂子, 米良貴嗣, 山内常生, 山崎允宏, 和田良久, 北島翼, 大谷良子, 永田利彦, 作田亮一 : COVID-19 流行下における神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症の新規外来患者および入院患者数の全国調査. *日本摂食障害学会雑誌* 3(1), 3-12, 2023
2. 学会発表
  - 1) 作田亮一 : 第 192 回小児科学学会埼玉地方会教育セミナー 神経発達証の二次性併存症と睡眠の問題. 9.10.2023, 埼玉

川越

- 2) 作田亮一: 第 41 回日本小児心身医学会学術集会教育セミナー「食べること」 小児の摂食障害と発達特性. 9.16.2023, 和歌山
- 3) 作田亮一, 北島翼, 井上建, 大谷良子: 第 26 回日本摂食障害学会 シンポジウム 6 「厚労省摂食障害研究班のシンポジウム」 テーマ「小児摂食障害プライマリー治療の手引き作成」. 10.21.2023, 東京
- 4) 作田亮一: 第 27 回 日本心療内科学会学

術大会. 「小児科医が子どものこころの診療を担う」ということ. 12.9.2023, 東京

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

#### I. 参考文献

なし